

青枯病に強いナス新品種「あのみりパワー」

近年の地球温暖化に伴い、ナスの生産現場では青枯病の発生が深刻な問題となっており、青枯病菌は地下深くで長期間生存するため、一度発生すると根絶が難しい難防除病害です。この深刻な課題に対し、農研機構野菜花き研究部門は、世界で初めて青枯病への抵抗性を持つ穂木用ナス品種「あのみりパワー」を育成しました。以下に、その特性の概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. 「あのみりパワー」は、青枯病に強い抵抗性を持つ品種です。青枯病菌に汚染された圃場では、強度抵抗性の台木用品種と同程度の抵抗性を示しました(表1)。
2. 果形は長卵形で、果皮には光沢があります(図1)。さらに、単為結果性やとげなし性を備えたことで、着果促進処理や収穫・管理作業の省力化が期待できます。また、収量性は市販品種と同等以上であり、総合的に実用性の高い品種です(表2)。

表1 「あのみりパワー」の青枯病抵抗性

品種名	青枯病		判定
	枯死株率 (%)	*発病指数	
あのみりパワー	0	6	強
市販品種A (穂木)	92	97	弱
市販品種B (穂木)	78	87	弱
市販品種C (台木)	0	0	強

表2 「あのみりパワー」の果実特性 (露地普通作型)

品種名	1株当たり 商品果数	果実			がく片・ 葉身の トゲ
		1果重 (g)	果長 (mm)	果径 (mm)	
あのみりパワー	49.6	166.5	184.2	55.1	無
市販品種A	43.7	188.7	165.8	57.6	有
市販品種B	46.3	162.9	163.2	57.1	有



写真「あのみりパワー」の果実

☆ 活用面での留意点

1. 「あのみり」や「あのみり2号」など、他のあのみりシリーズに比べて、単為結果性が若干弱いため、収穫時期が極端な低温期や高温期にかからない露地普通作型での利用が適しています。
2. 種子は許諾先の民間種苗会社から購入できます。
3. 詳細は、標準作業手順書[SOP] (<https://sop.naro.go.jp/document/detail/248>) やプレスリリース (https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/175924.html) を参考にして下さい。